



## 講座のアピールポイント

消化器（食道・胃・大腸・肝胆膵）と乳腺や甲状腺に発生した腫瘍や炎症による疾患を手術によって治療することを専門としています。術前に腫瘍を小さくすることを目的とした抗がん剤治療や手術後の再発を防ぐための化学療法も積極的に行っています。胆のう炎や虫垂炎、痔核、ヘルニア（脱腸）など一般の外科疾患に対する手術治療も積極的に行っています。手術の特色としては腹腔鏡をはじめとする低侵襲治療を積極的に採用していることがあげられます。

## 講座研究紹介

上述のような治療を推進していくにあたり、治療結果の解析に重点をおいて研究を行っています。

### 現在進行中の研究

- ・ 消化器内視鏡に関する疾患・治療手技データベース構築
- ・ 大腸癌手術の術式による低侵襲性および長期成績の評価
- ・ 腹部手術後の腹壁癒痕ヘルニア発生に関与する因子の検討
- ・ 当地域における急性腹症発症に関する因子の検討
- ・ 乳癌における腋窩手術法と上腕の知覚異常の範囲に関する検討
- ・ 大腸癌における分子標的薬併用化学療法の効果および有害事象の評価
- ・ 閉塞性大腸癌に対するステント治療の有用性に関する検討